



石東中だより

平成29年度4月20日

発行者：練馬区立石神井東中学校

校長 堀井安伸

「心づくり」「学力づくり」「体力づくり」を柱に！

校長 堀井安伸

校庭の桜が満開の中、始業式(4/6)、入学式(4/7)を挙行之開校70周年の節目となる平成29年度が無事スタートしました。

今年度は、新たな三学期制の2年目やオリンピックパラリンピック教育等を継続させていく年です。そのような中で、生徒が各々の個性を大いに伸ばし、健全にたくましく成長し、夢や目標の実現に向けて困難を乗り越えていける力を育むという普遍的なことも大切にしていきたいと思っています。そのために、これまでと同様に地域の皆様のお力をおかいただければ幸いです。また、保護者の皆様のますますのご理解ご支援をお願いいたします。



私の思いを入学式の校長式辞に込めましたのでご紹介させていただきます。これは新入生だけでなく在校生に向けてのメッセージでもあります。

平成29年度 第70回 入学式 校長式辞（抜粋）

今日から中学生として出発をする皆さんに、中学校生活の柱としてもらいたいことを三つお話をします。皆さん一人一人が自分自身に約束し、実行してくれるよう期待したいと思います。

まず、一つ目は「**心をつくる**」です。明るく、健やかに、たくましく生きることのできる健全な心の持ち主になる努力をしてほしいと思います。人間、それぞれ長所もあれば短所もあります。得意なものもあれば、苦手なものもあります。元気な人もいれば、温和な人もいます。お互いに、欠点を補い合い、長所を認め合い、生かし合って、助け合い、支え合って学校生活を送ることは大切なことです。

二つ目は「**学力をつくる**」です。学校は第一に学習するところです。一時間一時間の授業を大切に、日々しっかり学習し、基礎学力を身に付けてほしいと思います。心も体も著しく成長する中学生という時期に身に付けた力は、一生を左右するほどの大切な基礎・基本となるのです。学習はある意味では厳しく、辛いものでもあります。予習・復習をしっかりとやって、授業に真剣に取り組み「学力づくり」にはげんでほしいと思います。本校では数学や英語において少人数指導を行っており、補習教室などもあります。

三つ目は「**体力をつくる**」です。どんな立派な目標を持ち、計画を立てたとしても、体力がなくては目標を達成することは困難です。

毎日の学習にしても、将来、社会に出て自分の力を発揮するためにも、必要なのは健康な身体、体力です。体育の授業はもちろんのこと、部活動や運動会などの学校行事、そして日々の生活の中においても身体を動かす機会や、時間を作り出し、自分を甘やかさず、苦しいこと、辛い事にも取り組んで、身体を鍛え、自分の一生を支える体力の基礎を中学生の時代にしっかりつくる努力をしてください。

「心づくり」「学力づくり」「体力づくり」この三つのことを心に留め置いて日々努力をしてくれることを期待しています。

本校の教育目標は皆さんが本校で義務教育を終了し社会に出て行くときに必要なことです。そこで、個の目標を達成するための**合い言葉**を示します。それは、この中学校を皆さんの未来に向けての出発点として努力をはじめて欲しいという意味を込めて「**石東中は未来の私の出発点**」です。この合い言葉は、本年度から新たにつくりました。新入生だけでなく本校の全ての生徒に意識して欲しいと思っています。皆さんが理想とする未来の自分を実現するためにという思いを胸に中学校生活三年間を送って欲しいと思います。

さて、2・3年生の皆さん、後輩が希望に燃え、本校に大きな期待を持って入学してまいりました。良いお手本を示し、良き相談相手となって、新入生と共に、楽しく充実した学校づくりをしていってください。

今年度もよろしくお願ひいたします。ご意見をお寄せください。03-3996-2158

ホームページ：<http://www.shakujii-e-j.nerima-tyky.ed.jp/>